

第245回 京都歩こう会コース案内

リーダー 多湖 幹男

日時：平成29年2月24日(金)

集合：JR嵯峨野線 嵯峨嵐山駅 10時出発

コース：有栖川沿い～阪急松尾駅 ★

距離：7.7 km

行程：JR嵯峨嵐山駅 ⇒ 大覚寺・大沢池 ⇒ 有栖川沿い ⇒ 油掛地蔵 ⇒ 車折神社・芸能神社
 ⇒ 中山公園・昼食(WC) ⇒ 有栖川沿い ⇒ 梅宮大社(WC) ⇒ 阪急松尾駅前(解散)
 — 0.5 — | — 2.6 — | — 0.9 — | (単位:km)

【見どころ】

《大覚寺》(正式名：旧嵯峨御所大覚寺門跡)

876年 嵯峨天皇の長女・正子内親王の発願により寺院となり、真言宗大覚寺派の本山として現在に至る。又嵯峨天皇から始まった生け花嵯峨御流の伝統を今に伝えるところとしても知られている。大沢池を散策すると、池畔の東側に“嵯峨の蟲いにしへ人になりて聞く”俳人・野風呂の句碑がある。旧嵯峨御所と呼ばれるみやびな所。

《油掛地蔵》

「大覚寺油掛地蔵尊」の看板が掲げられている。創建の詳細・変遷は不明、鎌倉時代 1310年 願主・平重行により阿弥陀三尊として安置。地蔵尊に油を掛けると所願成就するといわれている。庶民の信仰として、長く守られ親しまれている。

《車折神社》…主な神事 三船祭

祭神は 清原頼業公 で、学問で有名な清原氏の出であり、自身も著名な漢学者・儒学者、1189年亡くなった後に宝寿院が建立。社名の「車折」は 御嵯峨天皇の牛車が社前で突然車が裂け進まなくなった。還御の後「車折大明神」の神号と正一位の神階を贈った。

《芸能神社》

祭神は 天守受売命(あめのうすめのみこと)を祀っている。天の岩戸の前で舞を踊るという故事に基づき 芸能・芸術・華道・茶道などより信仰。

《梅宮大社》

祭神は本殿：酒解神・大若子神・小若子神・酒解子神の4柱と、相殿：嵯峨天皇・橘嘉智子・仁明天皇・橘清友公の4柱、日本最古酒造の神。



大覚寺表門より



車折神社拝殿



梅宮大社鳥居と隨身門

【次回第246回ご案内】

日時：平成29年3月24日 (第4金曜)

コース：橘諸兄公の故郷を巡る 距離：6.0 km

集合：JR奈良線 玉水駅 午前10時

【次回下見会のご案内】

日時：平成29年3月3日 (第1金曜)

コース：鴨川～京都御所～植物園を歩く 距離：8.0 km

集合：京阪三条駅(地下中央改札口) 午前10時 出発